

# 鹿児島県

## がん相談支援部門活動報告



平成29年2月11日（土）

○済生会川内病院	園畠	美和
鹿児島大学病院	道園	久美子
	田畑	真由美
	川窪	剛

# H28年度鹿児島県がん相談支援部門戦略マップ

## 目標

1. 相談員のスキルアップ・質維持
2. がん相談支援センターの広報周知活動の強化

### 顧客の視点

利用者・相談員の満足度向上

### 財務の視点

相談件数の増加

相談員やりがい感の向上

相談員サロンの実施

広報・周知の充実

- ・ がん情報誌の作成
- ・ がん相談支援センターのPR活動

相談員スキルアップ・質維持

- ・ 研修会開催
- ・ 認定がん専門相談員研修の企画

点 内部プロセスの視

学習と教育の視点

# 平成28年度活動計画

【H28年度の新たな取り組み】

教育(研修企画、活動評価)情報周知(情報誌作成、広報周知)の4班に分け活動の充実を図る

各班	グループ活動目標
○研修企画	<ul style="list-style-type: none"><li>①がん相談員のスキルアップ・質維研修を年3回企画・実施する</li><li>②実施する研修会すべてを「認定がん専門相談員」認定事業Ⅲ群該当研修へリスト申請する</li><li>③全研修終了後にアンケートを実施し、参加者の満足度を調査する。</li><li>④相談員ネットワークの維持強化を図るために相談員サロンを開催する</li></ul>
○活動評価班	<ul style="list-style-type: none"><li>①「がん相談支援センター取り組みアンケート」を各施設ごとに実施する</li><li>②「市がん検診担当者講演会参加者」に対し、がん相談支援周知度アンケートを実施し周知度確認を行う</li><li>③各施設毎に、がん相談新規相談件数の増加を目指す</li></ul>
○情報誌作成	<ul style="list-style-type: none"><li>①鹿児島県がん情報誌データを完成させる</li><li>②県庁ホームページに掲載する</li></ul>
○広報・周知	<ul style="list-style-type: none"><li>①地域のイベントに参加し広報活動を行う</li></ul>

# 研修企画班 (1)

	戦略目標	業績評価指標	指定定義(算定式)	平成27年度実績	目標値	実施計画
顧客の視点	利用者・相談員の満足度の向上					
	●研修参加者満足度向上	相談員研修終了後アンケート結果	アンケート項目：大変ためになった、ためになったの項目が9割以上	なし	9割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育班の企画する研修会に参加した相談員に対し終了時アンケートを実施する。</li> <li>・教育班にてアンケート用紙を作成する。質問項目に、「本研修を受けて：大変ためになった、ためになった、ふつう、役に立たなかった」の内容の項目を作成する。</li> <li>・「大変ためになった」「ためになった」の項目が、3研修の満足度平均が9割以上を目標値とする。</li> </ul>
内部プロセスの視点	相談員やりがい感の向上					
	●相談員サロン実施	相談員サロン実施件数 4回/年	相談員サロン実施件数		4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回開催の4部門合同研修会①②、10月事例検討会③、5月チャリティーイベント④時に相談員サロンを実施。</li> <li>・日頃の相談対応について困っていることや、工夫していることなどを話し合う。</li> <li>・リラックスできる環境に配慮し語りの時間を作る。</li> <li>・活動内容の記録を作成する。</li> </ul>
学習と成長の視点	相談員スキルアップ・質維持					
	●スキルアップ研修会を開催し相談員のスキルアップと質維持に努める (スピリチュアルペインやコミュニケーション)	・学習会・事例検討会開催件数	・がん相談支援部門会で開催した学習会・事例検討会の開催数	2回	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月30日：「スピリチュアルペインを語る患者への対応」についての事例検討会を開催する</li> <li>・事例検討の進め方を検討する</li> <li>・患者の面談でスピリチュアルペインを語る患者の精神的支援の振り返り事例をまとめる(5月末までに)</li> <li>・10月：7月の事例をもとに「スピリチュアルペインを抱える患者の理解(仮)」について講師を招き講演会を開催する</li> <li>・2月の合同研修会の講師選出を行う</li> <li>・研修終了時アンケートを実施し、参加者の満足度調査を行う。(アンケート内容の検討)</li> </ul>
	●「認定がん専門相談員」認定事業Ⅲ群該当研修会の申請及び研修の質維持	認定事業Ⅲ群該当研修会の開催を3回/年		2件	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県がん相談支援部門会で開催される研修会を認定事業Ⅲ群該当研修会に登録手続きを取る</li> <li>・他県へも研修案内を実施する</li> <li>・認定書を作成し交付する</li> </ul>

# 研修企画班（2）

戦略目標	業績評価指標	指定定義（算定式）	H27年度実績	H28年目標値	実施結果値	達成率
●研修参加者満足度の向上	相談員研修終了後アンケート結果 ①7/30（実施済） ②10/14（実施済） ③3/11（予定）	アンケート項目：「大変ためになった」「ためになった」の項目が9割以上  ①～③の研修参加アンケート満足度平均90%以上	実績なし	90%	①「とても分かった」「よく分かった」（91.6%） 普通：4%、未回答：4% ②大変良かった（95%） まあまあ良かった	平均：95.5%

## 【結果・課題】

- ・目標値90%に対し今年度達成率は95.5%
- ・これまで研修終了後アンケートは未実施いなかった。
- ・今回、アンケートを実施することで、参見直しやスキルアップにつながる研修企画
- ・今後の研修企画のポイントとして、受講生かせる研修を検討する。
- ・研修広報案内を他県へも実施している



して  
国の  
務に

# 活動評価班 (1)

戦略目標	業績評価指標	指定定義(算定式)	平成27年度実績	目標値	実施計画
<b>利用者・相談員の満足度の向上</b>					
●がん相談支援センター周知度の向上①	周知度アンケート結果 対象者:保健師/がん検診に携わるもの	Q「がん相談支援センターを知っている」の回答率	53.4%	60.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート用紙の作成(具体的な活動内容を記載)</li> <li>アンケート対象者を保健師・がん検診に携わる者に絞ったアンケート①を実施</li> <li>4月19日、4月27日研修終了後のアンケート</li> <li>アンケート集計をし評価する</li> <li>7月の部門会で報告する</li> <li>今後の問題・課題を明らかにする</li> </ul>
●がん相談支援センター周知度向上②	周知度アンケート結果 対象者:医療・保健・福祉の各分野に従事される専門職種	Q「がん相談支援センターを知っている」の回答率	51.0%	60.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート用紙の作成(具体的な活動内容を記載)昨年度作成したアンケート内容をベースに作成(6月末までに)</li> <li>今後、アンケート対象の職種(保健師は別途で行う)・規模を検討し、アンケート②を12月頃実施予定</li> <li>1月アンケート集計をし評価する</li> <li>2月の部門会で報告する</li> <li>今後の問題・課題を明らかにする</li> </ul>
●がん相談支援センター新規相談件数の増加	新規相談件数/年	拠点病院・前年度新規相談件数比(+5%増)	各施設実績値	各施設前年度(5%増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設ごと、H27年度新規相談件数を抽出する。</li> <li>前年度と相談件数の比較を行う。(9月:中間評価、2月:最終評価の調査を実施)</li> <li>10月、2月の部門会で結果報告する</li> </ul>
●がん相談支援センターの活動内容の向上(取り組みアンケート調査)(拠点病院:10施設評価)	センター周知・広報の結果(12項目)	12項目中10項目が9割以上	12項目中8項目	10項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島県活動の可視化に沿った施設評価表を用いてアンケートを実施(この調査結果は拠点病院に限る)</li> <li>センター周知・広報(12項目)、サロン周知・充実(3項目)、多職種カンファレンスの実施(2項目)を前年度と比較・評価</li> <li>アンケートの内容を追加修正する。</li> <li>評価項目は、PDCA実施項目(プロセス指標)の中より抜粋する(7月の部門会で提示)</li> </ul>
	サロン周知・充実の結果(3項目)	3項目9割以上	3項目中1項目	3項目	
	多職種カンファレンスの結果(2項目)	2項目10割	2項目中1項目	80%	

# 活動評価班（2）

問2. 「がん」を専門とした『がん相談支援センター』というのを知っていますか？  
 \* 昨年度の対象者と異なるため、前年度比較としての評価は不可

	知っている	聞いたことがある	知らない	合計	知っている割合	知らない割合	知らない割合
保健師	36	10	6	52	69.2%	19.2%	11.5%
医師	15	0	0	15	100.0%	0.0%	0.0%
看護師	102	97	36	235	43.4%	41.3%	15.3%
MSW	26	5	0	31	83.9%	16.1%	0.0%
訪問看護師	8	7	4	19	42.1%	36.8%	21.1%
介護支援専門員	18	17	5	40	45.0%	42.5%	12.5%
H28年度合計	205	136	51	392	52.3%	34.7%	13.0%
昨年合計	377	230	113	720	52.4%	31.9%	15.7%

## 【結果・課題】

- ・昨年度実施したアンケート対象者と、今回実施した対象者の母数は異なるため、比較・評価は難しい。
- ・今回のアンケート対象者は、拠点病院に関わる医療者を対象としたにもかかわらず、周知率が低い。知っている割合は、本年度52.3%で前年と有意差はなかった。
- ・院内周知を見直し、利用しやすいシステム作りが課題。出来ることをまずはやる。
- ・アンケート調査の方法には限界があり、何を調査すると周知度評価や活動評価が得られるのかを検討し、有効な評価方法の見直しが必要。

# 情報誌作成班（1）

戦略目標	業績評価指標	指定定義 (算定式)	平成27年度 実績
戦略目標	業績評価 指標	指定定義 (算定式)	
●鹿児島県 がん情報誌 を作成する	情報誌データ 作成の進捗	鹿児島県が 誌データの 庁HPにアッ	

内部プロセスの視点



## 【結果・課題】

- ・実施計画に基づき4月～6月に必要情報
- ・情報誌内の構成別にメンバーを振り分け、レイアウト・編集作業を9月末締めで行った。
- ・10月の部門会にてスライドにて部門会メンバーへ情報誌(案)を提示。
- ・部門会終了後より、細かい箇所修正、国がんへイラストの使用等の確認を終え12月完成
- ・県のHPにアップする最終調整中。総合的な進捗評価としては、実施計画どおりに進んだと考える。
- ・今後は計画的に、修正・改定を行う。



# 広報周知班（1）

戦略目標	業績評価指標	指定定義（算定式）	H27年度実績	H28年目標値	実施結果値	達成率
●がん相談支援センターのPR活動の充実を図る	県内で開催されるイベントへの参加件数	イベントへ参加件数6件以上				



## 【結果・課題】

- ・ 4/19,4/27：市がん検診担当者講演会に相談員が講師として参加
- ・ 5/14：チャリーティーイベント参加：実行委員、相談員参加
- ・ 10/16やぶさめ祭り(高山)実行委員参加
- ・ 10/28種子島医療センター研修会：講師
- ・ 目標は6件のイベント参加を上げていたが、計画していた事業(ラジオ収録)が実施されなかったことで、現在5件で目標達成には至っていない。
- ・ 広報周知班WGの面々が地方に点在しており、集約するに厳しい状況にも関わらず、リーダーを中心に計画的に準備を進め、相談ブースやがん冊子の展示、法被を着ての周知、がん相談支援センターの周知度確認シールなど工夫を凝らしてイベントを企画できた。
- ・ 来年も引き続き地域に出向き、市民の周知度アップにつなげる活動の企画を検討していきたい。

# まとめ

- H28年度、2医療機関が指定病院として申請され、拠点病院（11施設）、指定病院（13施設）となった。
- 多くの方にがん相談支援センターを利用して頂くためにも、引き続きがん相談支援部門の周知活動の充実を図っていききたい。
- これからも、全委員で問題に取り組み解決の糸口を見つけ鹿児島県がん相談支援部門を盛り上げていきたい。

